

第 30 回日本組織適合性学会大会のご案内

第 30 回日本組織適合性学会大会
大会長 江川 裕人
(東京女子医科大学 外科学講座 特任教授)
副大会長 石田 秀樹
(東京女子医科大学 移植管理科 教授)

日本組織適合性学会・会員の皆さまにおかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
第 30 回日本組織適合性学会大会は、感染拡大状況を鑑み、開催形式を Web 開催に変更となりました。

ご発表通知、参加登録開始、プログラム内容の公開につきましては、8 月上旬を予定しております。
多くの会員のみなさまのご参加をお待ちしております。

Web 開催形式の詳細につきましては、参加登録後にお送りいたします抄録集、もしくは大会ホームページ (<https://rimc.co.jp/jshi2022/>) をご参照ください。

【テーマ】 MHC における基礎研究から社会実装へ

【開催期間】 2022 年 9 月 18 日 (日) ~ 19 日 (月・祝)

【開催形式】 Web による配信 (参加登録者限定) セッション限定でオンデマンド配信もあり

【特別講演】

特別講演 1 猪子先生追悼講演 太田 正穂先生 信州大学医学部
椎名 隆先生 東海大学医学部
特別講演 2 HLA の最先端 荒瀬 尚先生 大阪大学微生物病研究所

【シンポジウム】

- 1 シンポジウム 1: 第 26 回 QC ワークショップレポート: 高精度の検査結果を臨床に役立てるために
- 2 シンポジウム 3: 造血・輸血
- 3 シンポジウム 4: 臨床

【プレナリー】 Web による LIVE 口演

【ミニオーラル】

8/18 (日) ミニオーラル 発表と Web 上にてフリーディスカッションの時間を設けます。
みなさまぜひご参加ください。

【参加登録期間】

2022 年 8 月上旬から

クレジットカード決済 口座振込

【その他開催事項】

学術奨励賞口演，教育講演（Advanced Stage），認定 HLA 技術者講習会（大会教育講演を兼ねる），QCWS 集会，初心者講習会，共催セッションなど開催いたします。

大会 事務局

東京女子医科大学 中央検査部

事務局長 石塚 敏

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

運営 事務局

〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 61-405

合同会社 RIMC 内

TEL: 03-6260-7171 FAX: 03-6260-7172

E-mail: jshi30@rimc.co.jp

認定 HLA 技術者講習会（大会教育講演を兼ねる）

本講習会は、今後 HLA 検査技術者認定を取得あるいは更新しようとする方々を対象に実施されます。大会参加者は自由に参加することができます。受講に関しましては、事前登録をしていただく必要はございません。

日 時：令和 4 年 9 月 19 日（月曜日・祝日）9 時 00 分～11 時 00 分

開催方法：WEB 開催

テキスト：テキストの販売はいたしません。以下の URL に掲載されたテキストを必要に応じてダウンロードしてご使用ください。

<https://jshi.smoosy.atlas.jp/ja/latestlist>

受講証明書：認定制度に関わる受講証明書は、受講者 1 人につき 1 枚を発行いたします。会員管理システムよりダウンロード形式に変更したことに伴い、認定 HLA 技術者講習会の受講証明書の発行費用を有料と致しました。詳しくは学会公式サイトをご覧ください。

<https://jshi.smoosy.atlas.jp/ja/notices>

受講証明書を必要とされる方は以下の点にご留意ください。

1. 講習会への入退室時刻を確認するために必ず自らの会員番号と氏名で入室し視聴していただくことをお願いします。また、当日までに視聴可能なデバイス（PC、タブレット、スマートフォン）を各自ご準備ください。Wi-Fi 環境で視聴することをお勧めします。
2. 原則として、途中退出、中途入場の場合は受講証明書を発行しません。開始時間までに余裕をもって入室し、終了後に退室していただくことを厳守してください。なお、予期せぬ通信トラブル等により、やむを得ず短時間で退出された方は **9 月 23 日の 17 時まで**に認定制度委員会事務局（certification.office@jshi-mhc.org）に理由を添えてご連絡ください。
3. 大会専用サイトに掲載されるアンケートを **9 月 26 日の 17 時まで**に必ずご提出ください。その際、受講証明書の発行を希望される方は、アンケートの最初の質問事項で「希望する」を選択していただき、その後の項目で氏名、会員番号および講演中に提示する番号を忘れずに記載してください。
4. その他の発行手続きの詳細につきましては学会公式サイト（<https://jshi.smoosy.atlas.jp/ja/notices>）をご覧ください。

内 容：

- (1) HLA に関する基礎医学的な講演
成瀬 妙子 先生（長崎大学熱帯医学研究所）
「基礎知識：認定制度筆記試験の解説とポイント整理 —その弐—」
- (2) HLA タイピングあるいは抗 HLA 抗体検査に関する講演
藤原 孝記 先生（帝京大学医療技術学部）
「HLA 以外に求められる移植関連検査について」
- (3) 移植医療に関する講演
村田 誠 先生（名古屋大学大学院医学系研究科）
「造血幹細胞移植と組織適合性抗原」

認定制度指導者講習会

第30回日本組織適合性学会大会中の下記5企画から、4企画以上の受講をもって、指導者新規申請および更新申請に必要な講習を受講したものと認めます。大会サイトのマイページに掲載される単位申請用フォームによる自己申告をもって受講証明といたします。

内 容 :

- 1. 特別講演1「猪子先生追悼講演」：9月18日（日）9:00～9:45**
HLA タイピングの進歩：低解像度から高解像度解析への道のり
太田正穂（信州大学）
HLA 遺伝子領域の塩基配列決定と NGS-HLA タイピング法の開発
椎名隆（東海大学）
- 2. 教育講演（Advanced Stage）：9月18日（日）9:50～10:50**
HLA と疾患の関連解析に用いるロジスティック回帰分析と生存時間解析
大橋順（東京大学大学院）
がんの免疫回避と HLA
森島聡子（琉球大学大学院）
- 3. 特別講演2「HLAの最先端」：9月18日（日）11:10～12:10**
荒瀬尚（大阪大学）
- 4. シンポジウム1「第26回QCワークショップレポート：高精度の検査結果を臨床に役立てるために」：9月18日（日）13:10～14:40**
DNA-QC について
石本倫子（高知県・高知市病院企業団立高知医療センター）
抗体 QCWS からみる検査データの取り扱いについて
高橋大輔（日本赤十字社）
高精度の検査結果を臨床に役立てるために～検査水準のレベルアップと、正確に報告するためのノウハウ～
小林洋紀（日本赤十字社）
検査システム導入による効率化の取り組み
金本人美¹，橋口裕樹¹，江藤京子²，正木勝²（¹福岡赤十字病院，²株式会社KHJサービス）
臓器移植における組織適合性検査の役割～検査部門との連携の重要性～
西川晃平¹，舛井覚¹，東真一郎¹，佐々木豪¹，丸山美津子²，橋口裕樹³，金本人美³，井上貴博¹
（¹三重大学大学院，²三重大学医学部附属病院，³福岡赤十字病院）
血液内科医が検査結果を“正しく”理解するために
諫田淳也（京都大学大学院）
- 5. 教育講演（HLA技術者講習会を兼ねる）：9月19日（月・祝日）9:00～11:00**
基礎知識：認定制度筆記試験の解説とポイント整理 ―その式―
成瀬妙子（長崎大学）
HLA 以外に求められる移植関連検査について
藤原孝記（帝京大学）
造血幹細胞移植と組織適合性抗原
村田誠（名古屋大学大学院）

第 21 回日本組織適合性学会・近畿地方会のご案内

会 期：2023 年 3 月 18 日（土曜日）

会 場：大阪府赤十字血液センター 7 階会議室
（大阪市城東区森之宮 2 丁目 4 番 43 号）

世話人：荒木延夫先生（兵庫さい帯血バンク）

会 費：正会員 2,000 円 学生 1,000 円

内 容：第 48 回アメリカ組織適合性学会レポート
一般演題

シンポジウム「臍帯血バンクの現状と課題及び将来の姿」

特別講演「ヒト間葉系幹細胞の造血幹細胞移植への応用」

「SARS-CoV-2 と HLA」

共 催：財団法人 大阪腎臓バンク